

1. 概 要

魚類養殖指導は、平成5年度も技術面及び経営面を中心に実施した。

指導の方法としては、よりオープンに、効率的に行うため勉強会を実施するなど継続的に情報提供を行った。

さらに定期的に巡回指導し、交流会、情報交換会、生産者会議等を実施した。

2. 勉強会実施内容

(1) 羽地漁協大宜味魚介類養殖組合（メンバー8名、オブザーバー数名）

① 平成5年4月14日（第6回）

- ・特別研修の実施について
- ・新規種苗導入について

② 平成5年5月31日～6月6日（第7回）

- ・特別研修

マハタ養殖（三重県）

養殖魚の流通状況（神奈川県、東京都）

③ 平成5年6月24日（第8回）

- ・特別研修報告
- ・試験用種苗の網入れについて

④ 平成5年7月21日～22日（第9回）

- ・魚類養殖適正管理講習会（「DO天気図作成調査」）
- ・台湾の養殖事情

⑤ 平成5年8月18日（第10回）

- ・鹿児島県水産試験場試験報告（マハタ、チャイロマルハタ）
- ・魚病対策
- ・ヤイトハタ試験開始について

⑥ 平成5年9月29日（第11回）

- ・スズキ養殖稚魚輸入（ビデオ）
- ・ヤイトハタ測定結果、検討

- ・カンパチ養殖、本土の最新動向

⑦ 平成5年10月20日（第12回）

- ・輸入魚について
- ・ヒレナガカンパチの測定結果について
- ・ヤイトハタの測定（ビデオ撮影）について

⑧ 平成5年11月18日（第13回、本部漁協にて）

- ・解放型湾の蓄養殖
- ・浮沈式養殖施設の導入について
- ・沈下式養殖の状況報告
- ・ハタ類の養殖状況

⑨ 平成6年1月19日（第14回）

- ・ヒレナガカンパチ測定、クドア調査、食味試験
- ・ヒレナガカンパチ出荷の検討
- ・マダイ等平成6年の種苗導入について

⑩ 平成6年3月23日（第15回）

- ・ヤイトハタ測定、まとめ
- ・平成6年種苗及び出荷方法について

(2) 久米島漁協（平成5年4月23日、3名）

- ・沖縄県における魚類養殖の最近の動向

(3) 八重山漁協（平成5年5月25日、14名）

- ・沖縄県における魚類養殖の最近の動向

(4) 浦添・宜野湾漁協（平成5年5月28日、3名）

- ・沖縄県における魚類養殖の最近の動向

(5) 糸満漁協（平成6年1月13日、11名）

- ・平成6年度増養殖事業検討
- ・カンパチの養殖について

3. 巡回教室（平成5年7月21日～22日）

(1) 大宜味村塩屋湾内魚類養殖場にて、参加者8名。

- ・DO天気図作成実習（鹿児島大学、門脇秀策氏）

(2) 名護市にて、参加者80名。

- ・魚類養殖漁場適正管理について（鹿児島大学、門脇秀策氏）

- ・台湾養殖事情の紹介（水産振興課、島田和彦氏）

4. 講習会（平成5年8月24日）

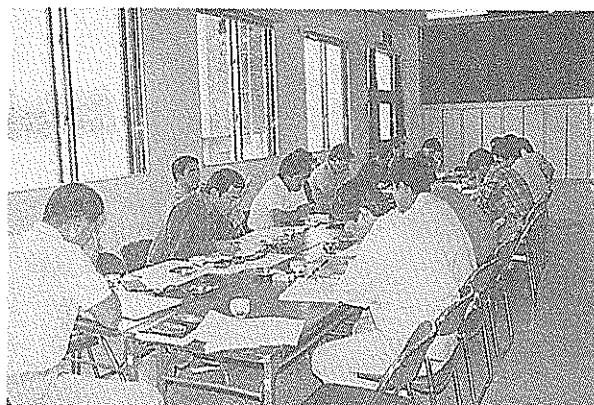
(1) 読谷村漁協にて 7名

- ・DO天気図作成実習
- ・魚類養殖事業計画検討

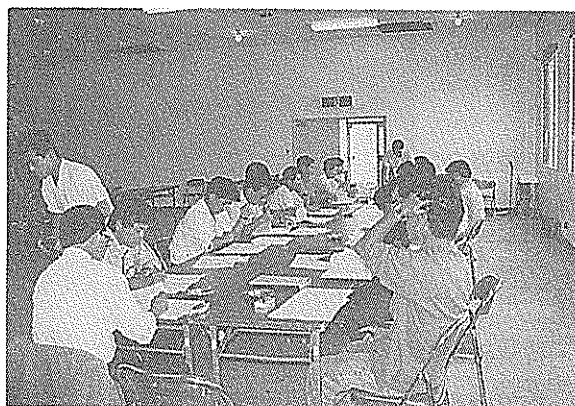
5. 情報交換会（平成5年11月18日）

本部漁協にて、参加者、5地区23名

- ・解放型湾の蓄養殖（普及所、新里勝也普及員）
- ・浮沈式養殖施設の導入について（読谷村、大湾勇氏）
- ・沈下式養殖の状況報告（本部漁協、具志堅勝文氏）
- ・ハタ類の養殖状況（新里勝也普及員、具志堅勝文氏）



情報交換会。本部漁協にて。



同左。



スジアラ養成シェルター。